

学校だより

ゆ め は 大 き く

尾張旭市西の野町5丁目1番

<http://www.owariasahi.jp/asahi-e/>

尾張旭市立
旭小学校
第6号
平成27年
10月19日
TEL 0561-53-2035

“仲間を信じて 全力勝負！”

さわやかな秋空の下、多くの保護者の皆様とご来賓の皆様にお越しいただき、運動会を開催することができました。

運動会スローガン「仲間を信じて全力勝負！」の言葉通り、子どもたちは最後まで全力で競い合い、演技に集中することができました。勝負は、最終得点種目の紅白対抗リレーまで持ち込まれ、赤組が大逆転勝利を収めました。1点差で敗れた白組の戦いぶりも素晴らしいものがありました。

子どもたちは、運動会の練習を通して、演技の方法や手順を覚えるだけでなく、級友と協力する気持ちや集中力、忍耐力を身につけ一段と成長しました。今後の学校生活での頑張りが楽しみです。

保護者の皆様、地域の皆様、最後まで温かいご声援をおくっていただきありがとうございました。感謝申し上げます。 【運動会の一コマより】



“金管バンド部 市民祭で魅了”



10日（土）1時から市民祭パレードに参加しました。圧倒的な音量で堂々で行進し、観客を魅了しました。ステージ演奏でも、動きを取り入れた構成でたくさんの拍手をいただきました。子どもたちも、良い緊張感を味わってくれたことでしょう。

“社会見学・運動会等でのねらいの一つ”

2学期は運動会や社会見学などの行事や学習が各学年ともあります。これらの活動には、知識・理解以外にもいくつかのねらいがあります。その一つが自分と他との“かかわり”の大切さに気づくことです。人は多くの人とつながり、支え支えられています。学習指導要領には次のように記述されています。社会科の目標には、「社会生活についての理解を図り・・・」とあり、「社会生活についての理解とは、人々が相互に様々なかかわりを持ちながら生活を営んでいることを理解するとともに・・・」とあります。特別活動の目標には「よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに・・・」とあります。

今の子どもたちの多くは、友達とのつながり方・人間関係づくりが苦手です。その原因はいくつかあるでしょう。自分中心の一面的な思考しかできなかつたり、自分の思いを言葉で伝えることができなかつたりすることも原因の一つだと思います。しかし、これは経験を積み重ねることにより表現力がつき、客観的にものごとを観ることができるようになります。ただ、人間関係づくりが苦手な子の割合は以前よりも高くなり、一人一人の個性の幅は大きくなっています。学校は小さな社会です。いろいろな子がいます。いて当たり前です。そういう中で、みんなで協力してよりよく生活していくためにはどうしたらよいのかを考え、自分の生活は、周囲のいろいろな人たちに支えられてきたこと・支えられていることを学ぶのです。このことは、今の子どもたちにとって大切な学習です。そういった認識の上に、自分の夢や目標に向かって努力していける子どもたちになって欲しいと思います。

永六輔さんの詩に「生きているということば」という詩があります。一人でも多くの子が、人とのつながりに気づき、自分だけがではなく、旭小のみんながよりよく生活していけるように考え、将来、自立し、社会を支えてくれる人に育っていくことを願っています。(木村 修)

“お金は大切に考えて使おう”

今の子どもたちは豊かなものに恵まれています。それはそれでよいのですが、そのありがたみは理解していません。実際、学校の落とし物置き場には、50近くの“服”や“かさ”などが落とし主を待っています。

教室での文房具などの落とし物を含めたらどれだけの数になるのか想像が付きません。

同じように、金銭についても、子どもたちはその価値を分かっているとは言えません。お金の大切さを知らないがために、安易に持っているお金を使いトラブルの原因になってしまうこともあります。特別のお小遣いが入ったときには、お家でもその使い方について気をつけていただければと思います。

「生きているということば」

生きているということは 誰かに借りをつくること
生きていくということは その借りを返していくこと
誰かに借りたら 誰かに返そう
誰かにそうして貰ったように 誰かにそうしてあげよう
生きているということは 誰かと手をつなぐこと
つないだ手のぬくもりを 忘れないでいること
めぐり逢い愛しあい やがて別れの日
その時に悔やまないように 今日を明日を生きよう
人は一人では生きてゆけない
誰も一人では歩いてゆけない



※ 11月の行事予定については、学年だより・ホームページでご確認ください。